

第104回 二科展 巡回展（大阪展）



▲ 大阪市立美術館と二科展看板

■ 大阪巡回展は10月30日より11月10日まで、天王寺にある大阪市立美術館で開催いたしました。絵画211点、彫刻15点、デザイン195点、写真215点の総出品点数635点の展示です。

■ 本年度は美術館の都合で会期が例年より1日少ない開催となりましたが、秋の好天に恵まれ、盛況のうちに終了することができました。来場者数は15827人。昨年に比べ総数は落ちていますが、少ない会期のため、日割り入場者数は増加しており、年々有料入場率が増えていることから、恒例の催事として地域から関心を集めつつあることを感じます。

■ 本年度も、会期中のミニ・コンサートや、絵画部による二科出品希望者のための「ワンポイントアドバイス」を開催。併催の「第68回子供二科展」や、デザイン部主催の「第17回全国ポストカード大賞展」などの展示も加わり、大阪の秋を彩る文化イベントとして大いに盛り上がりました。

■ 大阪展の絵画部では、毎年全ての全国巡回作品及び、全国巡回にならない関西支部会員、京滋支部会員の東京展出品の大作を展示し、東京本展での感動をここ関西でも、できるだけ感じていただければと願っております。（点数内訳は全国巡回作品全116点、関西及び京滋の大作会員12点、物故会員1点、会友26点、一般56点）

■ 総じて好調のように見えて、少子高齢化による出品者数の減少、来場者数の伸び悩みは、例外なく我々にとっても最大の課題となっています。今後は、時代に合わせた画像・動画配信をはじめとする新たなチャネルでのアピール方法によるニーズ開拓を模索しなければならないと感じております。

(絵画部会員 高畑彰)

▼ 絵画部展示会場 ▼



懇親会風景
絵画部受賞者と初入選者 ▶



巡回展と同時開催された
こども二科展示会場風景と
▼ 入選した子供たち



◀ ロビー風景

会期中に開催された
ミニ・コンサート風景 ▶

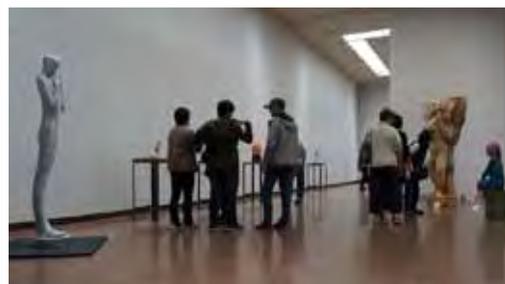


■ 彫刻部は出品点数15点（会員12点、会友2点、一般1点）

彫刻部の巡回展は、巡回する地域の出品者の作品と全国巡回する作品とで構成されます。今回は15点の作品が展示されました。展示点数が少ない分、一点一点の作品をたっぷりの空間を使って配置できます。会場に入って来られた鑑賞者の動きを見てみると、かなりゆっくりと鑑賞されています。そして、作品について感想など話している光景はほほえましいものです。子どもたちは、観るだけでなく、作品に触れたいのだろうと思いました。「触れてはいけない」と親御さんから注意を受けている姿を見かけましたが、会員（作者）立ち会いのもと、彫刻作品と触れられる機会を作ってもいいのではないかと考えました。

（彫刻部会員 橋本和明）

▼ 彫刻部展示会場 ▼

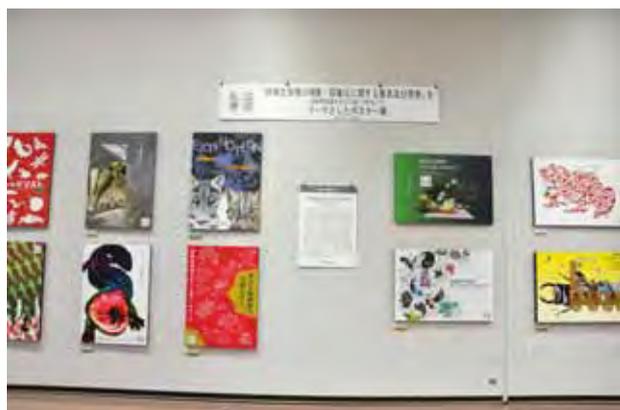


■ デザイン部は、●A部門＝自由テーマ・ポスター（B1） ●B部門＝特別テーマポスター／環境省後援による「絶滅危惧種の盗掘・乱獲防止」（B1） ●C部門＝自由テーマ・イラスト（B2） ●D部門＝小型グラフィック（B2）の4部門で構成されています。今回より審査進行をスムーズにするため、データ管理システムの整備をはかりました。それにより、進行トラブルも無くに審査に集中することが出来ると共に時間的余裕も生まれました。いろいろ改革出来るところは積極的に取り組んでいきたいと考えています。B部門の特別テーマポスターについては、環境省後援による唯一のメッセージ性を必要としたポスターデザインです。A部門はポスター形式であっても、グラフィカルなアートのイラストが主体の作品が多く、ポスターとしての訴求効果は部門の特質によって異なります。それぞれそれなりに難関で、毎年入賞作品においては研究された優秀な作品が出品されており、次回もより個性豊かで、楽しい、創造性のある作品を切望しています。

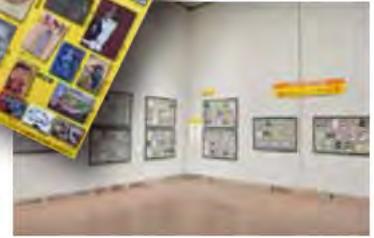
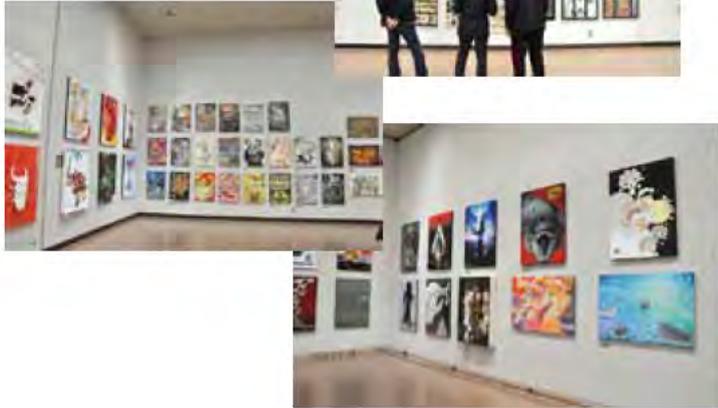
大阪展の展示数は全国巡回作品147点（一般77点、会友27点、会員43点）と、関西地区出品作品48点（一般28点、会友7点、会員13点）の計195点を展示しました。また、第17回を迎える全国ポストカードデザイン大賞において、小学生部門は4年目を迎え、デザイン部会場で展示しました。小学生・学生（中高生）・一般合わせて2,510点の応募が有り、295点が入選しました。出品数は小学生部門が毎年右肩上がりを示し、今後も出品者増が期待出来ると確信しています。二科大阪展の最終日には、ポストカードデザイン大賞の表彰式を小学生の1部、2部・学生の部・一般の部・団体の5回に分けて行い、式典出席入選者全員の作品を、一人ひとり入選状・賞状手渡し時に拡大映写して、ムードの盛り上げをはかりました。各表彰式終了後は、希望者には拡大映写された本人作品の前で記念撮影を、また展示会場では、デザイン部会員がワンポイントアドバイスをを行い、多くの参加者で会場は熱気に溢れ好評を博しました。

（二科会デザイン部関西地区事務局 田野 勝）

▼ デザイン部展示会場 ▼



▼ デザイン部会場風景 ▶



全国ポストカードデザイン大賞チラシと
作品展示風景 ▲

■ 写真部は関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山の会員、会友の作品と全国応募の入賞作品の展示で構成しています。会期中に2回ギャラリートークを開催し熱心な皆様の場となりました。青木君夫名誉会員が11月6日で100歳になられるのを祝い4部の懇親会で関西二科会より花束贈呈と記念品をお渡しいたしました。永年、写真部と関西二科会、発展の為、尽力されて来られました。100歳を記念して産経新聞にも掲載して頂き、また毎日放送からも放映して頂き先生にとって良き記念の年になりました。ところで残念な事に11月24日自宅にて急死されました。先生のご冥福をお祈りいたします。関西二科会の皆様、産経新聞社の皆様には本当にお世話になり感謝申し上げます。

(一般社団法人二科会写真部 理事 水谷勝昭)

▼ 写真部展示会場 ▼



テレビ取材を受けられる青木先生 ▶